

東区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021～2026) 令和5年度分実績一覧

【基本理念】

「地域の人々とのふれあいや支えあいのなかで、
みんなの顔が見え、元気で安心して暮らせるまち」

基本目標1 支えあい、助けあい、つながりあうまちづくり

◎地域で暮らす誰もが安心して暮らすために、人と人、人と社会がつながり、支えあい、助けあうまちづくりを進めます。

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(1) 地域で気軽に助けあえる関係をつくりましょう										
①	見守り訪問による高齢者の実態把握	第三者の目が届いていないと思われる高齢者を対象に、見守り訪問を実施して生活の様子を確認するとともに、状況に応じて心ざわしいサービスへの誘導を図る。	健康福祉課	訪問件数	継続	6,100件	7,507件	7,430件	昨年とほぼ同様の訪問件数で問題なし世帯が99.8%となっている。	
②	地域活動補助金【地域福祉・地域計画策定】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	7件	6件	7件	高齢者の健康増進や世代間交流等の活動が継続的に行われている。	
③	歩道除雪奨励金交付制度	市管理道路の歩道除雪において、市民団体が自主的に実施する歩道除雪に対し奨励金を交付する。	建設課	回数	継続	54回	133回	51回	制度の活用が進められる一方で、高齢化による担い手不足の声があがっている。	
④	小地域福祉活動（支会活動）の推進	東区社会福祉協議会支会による小地域での福祉活動の充実を図るため、支会活動助成を行う。	区社協	実施団体数	継続	12地区	12地区	12地区		
⑤	地区単位での地域福祉懇談会の開催	各地区ごとに懇談会を開催し、地域福祉活動計画の地区目標の推進を図る。	区社協	実施回数	継続・充実	6地区	12地区	12地区	地区単位のヒアリングにより実施	
⑥	まごころヘルプ事業	住み慣れた地域で安心して暮し続けるために、住民、団体が会員となり、有償で助け合う地域住民参加型の在宅福祉サービス（助け合い活動）を実施する。	区社協	登録者数	休止	利用会員 127人 提供会員 54人 賛助会員 5人	事業廃止	事業廃止		
⑦	地域福祉推進フォーラムの開催	「東区地域福祉計画・地域福祉活動計画（愛称：東区地域ふれあいプラン）」の推進のため、東区地域福祉推進フォーラムを開催する。	区社協	参加者数	継続	開催なし	1回 参加者数 133人	開催なし		
⑧	CSWによる生活課題への相談支援	個別課題から地域課題へつなげ、地域住民とともに、生活課題の解決を図る。	区社協		継続	専門職の介入を拒み課題から抜け出せずにいる世帯の相談支援等	精神の不調のためごみ屋敷状態になっている世帯への相談支援など	母の生活能力・経済管理能力の低さから、ごみ屋敷、ライフラインが度々止まる環境で生活する母子世帯への相談支援など		

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(2) 地域活動・ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みをつくりましょう										
①	ボランティア・市民活動センターの運営	ボランティアに関する相談を受け付け、活動先の紹介やボランティアの紹介等を行う。	区社協	相談件数	継続	77件	131件	131件		
②	元気カアップサポーター事業	65歳以上の高齢者が介護施設などでのサポート活動を通じて、いきいきとした地域社会づくりに貢献するとともに、活動する人自身の介護予防の推進を図る。	区社協	受入協力機関数・登録者数	増	81施設 538人	82施設 553人	84施設 570人	新型コロナウイルスの影響で活動受け入れを休止している施設が多い。	
③	認知症サポーター養成講座	企業や住民、行政からの依頼により、認知症の方への支援と理解を深めるための講座を開催する。	区社協	実施回数・参加人数	継続	開講なし	開講なし	2回 35名		
④	ボランティア・市民活動育成事業(ボランティア養成講座)	ボランティア意識の醸成を図りながら、ボランティア・市民活動への参加を促し、活動の活性化につなげていくため、地域住民、企業等を対象に各種研修会や講座を開催する。	区社協	講座数・参加者数	増	・ボランティア出前講座 15回 参加者 314人 ・ボランティアサロン 18回 参加者 288人 ・ボランティアきっかけづくり講座 1回 参加者 28人	・ボランティアチャレンジ講座 4回 96人 ・ボランティアサロン 22回 参加者 675人 ・出前講座、きっかけづくり講座 4回 参加者 70人	・ボランティアきっかけづくり講座 初心者向け「手話講座」 1回 参加者36人		
⑤	学生向けボランティア講座	夏休み期間を利用し、学生がボランティア活動に関心をもつ機会をつくり、今後のボランティア活動につなげる。	区社協	参加者数	継続	未実施	代替事業(ボランティア体験) 3回 59人	代替事業(ボランティア体験) 11回 25人	地域交流イベントや区社協事業でボランティア体験を実施した。	
⑥	ボランティアフェスティバル	ボランティアグループ、団体の活動内容を紹介する機会と情報交換の場をつくることともに、ボランティア活動を知り、ボランティア活動のきっかけをつくることを目的に開催する。	区社協	参加団体	縮小・変更	未実施	未実施	未実施		
⑦	ボランティアの活動支援	ボランティア活動を行っている方々の情報交換の場を設け、活動における悩みの解消やさらなるボランティア活動の推進を図る。	区社協	実施回数・参加人数	継続	ボランティア登録 48団体 1,204人 個人 24人 ボランティア保険加入数 活動保険 860人 行事用保険 985件	ボランティア登録 46団体 1,474人 個人 39人 ボランティア保険加入数 活動保険 871人 行事用保険 1,072件	ボランティア登録 46団体 854人 個人 34人 ボランティア保険加入数 活動保険 797人 行事用保険 1,205件	高齢化により活動できなくなり、メンバーが減少している団体がある。また、退職後にボランティアをする方も仕事の延長などで減少している。	

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(3) 地域で子育て支援ができる仕組みをつくりましょう										
①	わいわいひろば 子育て支援事業	東区プラザ内「わいわいひろば」で、親子・地域・世代間交流イベントを実施する。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	163回 3,085人	179回 2,721人	205回 4,464人	コロナウイルスが5類に引き下げられ、参加者が安心して参加できるようになったこともあり、前年度に比べると参加者が増加した。	
②	NPプログラム	0歳から5歳までの子どもをもつ親を対象に、それぞれに抱えている悩みや関心のあることをグループで出し合って話し合いながら、自分にあった子育ての仕方学ぶ。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	4回 32人	3回 19人	3回 22人	親同士が子どもから離れ自分を主体として話し合える貴重な機会として実施した。	
③	BPプログラム	初めて赤ちゃんを育てている母親を対象に、「子育て仲間づくり」、「0歳児の育児に必要な少し先を見越した基礎知識の学習」、「親子の絆づくり」を支援する。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	8回 66組	8回 58組	7回 63組	子育て世代の知識の習得と交流の場づくりとして実施した。	
④	親子ふれあい広場 子育て事業	未就園児などを対象に、親子あそび指導者による親子遊びを行い、親子のふれあう機会・場をつくる。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	7～12カ月：7回 238人 1～3歳：8回 321人	7～12カ月：11回 363人 1～3歳：12回 536人	7～12カ月：11回 552人 1～3歳：12回 536人	親子のふれあい方を実体験により習得できる機会を提供できた。	
⑤	CAPプログラム	子どもが暴力から自らを守るための知識や技能を身につける人権教育を実施する。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	5回 37人	6回 39人	6回 55人	東区の公民館、わいわいひろばを会場として、保護者、施設職員を対象に実施した。	
⑥	児童虐待防止研修会	子ども支援関係機関などを対象に、虐待防止を強化するための研修会を開催する。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	2回 52人	2回 45人	2回 126人	児童虐待の早期発見・予防に向け区内関係機関を対象に研修を実施した。	
⑦	こんにちは赤ちゃん訪問事業	生後4か月になるまでの全ての乳児と産婦を対象に訪問を実施し、保健指導や育児情報の提供を行い、地域における育児支援につなげる。	健康福祉課	訪問件数	継続	実人数：1,936人 延べ件数：2,679件	実人数：1,937人 延べ件数：2,299件	実人数：1,982人 延べ件数：2,522件	生後4か月頃までの乳児のいる家庭に対し、全数訪問が実施できている。	
⑧	育児相談	育児全般又は育児に関する悩みや不安について個別相談を行うことにより、子育てを支援する。	健康福祉課	相談件数	継続	実人数 233人 延べ件数 446件	実人数 245人 延べ件数 472件	実人数：233人 延べ件数：482件	予約制としている。1歳半未満の利用が多く、授乳や栄養の相談が増多い傾向にある。	
⑨	こども創作活動館	文化活動や遊びを通して、創造力豊かで健全な子どもの育成を図る。	健康福祉課	利用者数	継続	26,117人	30,403人	32,560人		
⑩	わいわいひろば	小さな子どもを対象とした、子育て支援を目的とした居場所として、親子遊びなどの催しのほか、子育て相談、短時間保育も行う。	健康福祉課	利用者数	継続	27,096人	32,066人	40,664人		
⑪	い～てらす	「遊ぶ」・「つながる」・「楽しむ」をコンセプトに、のびのびと遊べる場・交流と育児支援の提供の場・多世代が居心地よく楽しめる場を提供する。	健康福祉課	利用者数	継続	90,636人	120,414人	136,485人		
⑫	子育てサロン・サークル活動支援	子育て中の親の不安・ストレス解消を図り、情報交換、仲間づくりの場の運営を支援するため助成を行う。	区社協	助成団体数	継続・廃止	子育てサロン 8か所	子育てサロン 8か所	子育てサロン 2か所	令和4年度までは子ども食堂も助成対象。令和5年度より子ども食堂運営助成を設けたため、本事業の申請が減少した。	
⑬	子育てボランティアの育成	子育て支援に携わるボランティアの養成を行う。	区社協	回数・参加者数	継続	開催なし	・ボランティアチャレンジ講座 4回 96人	開催なし		
⑭	他団体と連携した子育て支援講座	子育て支援に携わるボランティアの養成・活動支援を行う。	区社協	参加者数	継続	開催なし	・ボランティアチャレンジ講座 4回 96人	開催なし		
⑮	子ども食堂ネットワーク事業	食を通して、子どもたちの生きる力を育むことを目的に、温かい食事と安心できる居場所を提供する「子ども食堂」の立ち上げ・運営支援を行う。	区社協	回数・参加団体	継続	子ども食堂連絡会議の開催 1回 参加者 11名	子ども食堂連絡会議の開催 2回 参加者47人	子ども食堂ネットワーク会議の開催 1回 参加者11名	子ども食堂運営団体への支援の一環として、企業等協力団体とのネットワーク構築を行った。	

基本目標2 健康で住みやすいまちづくり

◎いつまでも元気にいきいきと暮らしていくことができるよう、健康づくり・生きがいつくりに取り組むとともに、誰にもやさしい生活環境づくりを推進します。

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(1)心身ともに健康で生きがいを持った生活を送りましょう										
①	各種がん検診	疾病の早期発見・治療のため、各種がん検診を実施する。	健康福祉課	受診率	継続	胃23.6% 乳19.0% 大腸24.6% 子宮 21.8% 肺11.3%	胃23.8% 乳19.6% 大腸24.5% 子宮 21.7% 肺11.5%	(集計中)		
②	特定健康診査	メタボリックシンドロームの該当者や予備群をいち早く見つけられる健診を行う。	健康福祉課	受診率	継続	27.45% (3月5日報告分)	27.19% (3月5日報告分)	27.22% (3月5日報告分)		
③	健康相談	保健師、栄養士等により、健康に関する個別相談に応じ、必要な相談・助言を行う。	健康福祉課	回数・延人数	継続	23回(3会場75人)	24回(3会場73人)	24回(3会場68人)		
④	特定保健指導	特定健康診査でメタボリックシンドロームの該当者やその予備群と判定された人などに、生活習慣を改善するための指導を行う。	健康福祉課	回数・延人数	継続	24回(2会場)86人	24回(2会場)61人	24回(2会場)42人	利用者が年々減少傾向にある。未利用者への電話かけにより、利用につながらない理由を把握し、利用者増加に向けた取り組みを検討する。	
⑤	依頼健康教育	健康づくりや生活習慣病の予防、また歯の健康を守るための日常生活上の心得や食生活のあり方等について、保健師、栄養士などによる講習会を開催する。	健康福祉課	回数・延人数	継続	29回 401人	35回 479人	35回 598人		
⑥	栄養・運動・休養をテーマにした講習会・講演会の開催	健康寿命の延伸を目的に、正しい健康知識を普及啓発するための講演会やコミュニティ協議会などの地域単位でのウォーキング等の運動体験講座を開催する。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	【講習会・講演会】 4回 104人 【ウォーキング・介護予防 自主グループ支援】 12回 141人	【講習会・講演会】 6回 90人 【ウォーキング・介護予防 自主グループ支援】 15回 179人	【講習会・講演会】 6回 72人 【ウォーキング・介護予防 自主グループ支援】 13回 141人		
⑦	介護予防教室や認知症予防教室の開催	介護などが必要となるおそれのある人に対し、運動器・口腔機能向上、栄養改善の複合型教室や脳活性化のための健康教室を開催する。	健康福祉課	回数・延べ参加者数	継続	【複合型教室】 205回 998人 【介護予防教室等】 22回 311人	【複合型教室】 143回 1,102人 【介護予防教室等】 20回 314人	【複合型教室】 143回 1,140人 【介護予防教室等】 14回 244人	介護予防教室等の運動自主グループへの講師派遣は希望が少ないため、令和4年度で終了。令和5年度よりコミュニティ協議会にて行っている介護予防事業の支援として講師派遣を行っている。	
⑧	食生活改善推進委員の育成	「食生活改善推進委員養成講座(健康栄養セミナー)」の修了生が、生涯における健康づくり活動を、食を通して推進する。	健康福祉課	推進委員数	継続	37人	35人	30人	令和5年度に食生活改善推進委員の養成講座を実施し7名の新規入会があった。高齢を理由とした退会があり、減少傾向にある。	
⑨	運動普及推進委員の育成	「運動ボランティア養成講座」の修了生が、健康づくりのための運動を広めるために活動する。	健康福祉課	推進委員数	継続	24人	23人	21人	体操や認知症予防等の内容について、地域のお茶の間等からの多くの依頼があり、回数を調整して対応している。令和6年度に運動普及推進委員の養成講座を実施予定。	
⑩	老人クラブ	高齢者が自主的に集まり、相互の親睦、教養の向上、健康の増進、地域社会との交流を図る。	健康福祉課	クラブ数・会員数	継続	36クラブ 1,424人	34クラブ 1,299人	32クラブ 1,162人		
⑪	「地域の茶の間」の立ち上げ・運営支援	地域に住む子どもから大人まで誰もが気軽に集まって過ごすことができる居場所「地域の茶の間」の普及を図るため助成を行う。	区社協	助成件数	継続	月1タイプ：48か所(件) 月2タイプ：10か所(件) 社協助成のみ：6か所(件)	月1タイプ：53件 月2タイプ：8件 社協助成のみ：13件	月1タイプ：50件 月2タイプ：8件 社協助成のみ：13件		
⑫		地域に住む子どもから大人まで誰もが気軽に集まって過ごすことができる居場所「地域の茶の間」の普及を図るため助成を行う。	健康福祉課	助成件数	継続	週1タイプ：13件	週1タイプ：13件	週1タイプ：13件		
⑬		「地域の茶の間」の立ち上げ、運営を支援するため、情報提供や交流会、研修会等を行う。	区社協	参加者数	継続	開催なし	地域の居場所勉強会 3回 117人	地域の居場所交流会 1回 93人	地域の茶の間の運営者を対象とした勉強会を開催。	

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
⑭	元気カアップサポーター事業<再掲>	65歳以上の高齢者が介護施設などでのサポート活動を通じて、いきいきとした地域社会づくりに貢献するとともに、活動する人自身の介護予防の推進を図る。	区社協	受入協力機関数・登録者数	増	開催なし	82施設 553人	84施設 570人	新型コロナウイルスの影響で活動受け入れを休止している施設が多い。	

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(2)安全で快適な生活環境をつくりましょう										
①	障がい者住宅リフォーム助成	重度の身体障がい者が自宅で安心して生活できるように、浴室やトイレ、階段などを改造する場合、費用の一部を助成する。	健康福祉課	件数	継続	6件	8件	3件		
②	高齢者住宅リフォーム助成	身体機能の低下した65歳以上のお年寄りが自宅で安心して生活できるように、浴室やトイレ、階段などを改造する場合、費用の一部を助成する。	健康福祉課	件数	継続	34件	41件	26件		
③	ごみのない美しい東区まちづくり事業	まちの美化と環境保全意識の一層の向上を図り、毎月最終日曜日をごみゼロの日として、身近なところを清掃するとともに、コミュニティ協議会単位で区内一斉清掃を実施する。	区民生活課	参加人数(実施か所)	継続	5,347人(106か所)	4,901人(104か所)	6,364人(112か所)	東区内12コミュニティ協議会の全てが参加し、清掃活動を行った。	
④	地域活動補助金【環境美化】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	2件	3件	3件	継続的に花を植える活動等が行われている。	
⑤	校区交通安全推進協議会育成補助金	校区交通安全推進協議会が行う交通安全意識の高揚及び交通事故防止活動に係る事業費の一部を補助する。	総務課	件数	継続	12件	12件	12件	東区内の校区交通安全推進協議会からの補助金申請に基づき、審査のうえ交付している。本事業については実績報告において一定の成果が認められるので今後も継続していく必要性が認められる。	
⑥	高齢者や障がいのある人などの外出、移動のためのサービスの検討	高齢者や障がいのある方の外出を支援するため、車いすの貸し出しを行う。	区社協	延べ貸出件数	継続	50回	86回	116回		
⑦	障がいを理解するための取り組み	障がい者の社会参加、活躍の場づくりを支援し、障がい者への理解を図る。	区社協	件数	継続	・アートキャンプへの協力 ・障がい者のアート展示協力「ほうこくの壁」 ・福祉教育「総合学習」における体験学習 26回	・障がい者アート展示協力「ほうこくの壁」 ・福祉教育「総合学習」における体験学習 29回 ・特別支援学校生徒の体験学習受け入れ 1回	・障がい者アート展示協力「ほうこくの壁」 ・福祉教育「総合学習」における体験学習 35回 ・特別支援学校生徒の体験学習受け入れ 1回		

基本目標3 安心・安全に暮らせるまちづくり

◎地域全体で見守りの輪を広げ、災害、犯罪、虐待などの緊急時に助けあえるまちづくりを進めます。

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(1) 地域で見守りの輪を広げましょう										
①	見守り訪問による高齢者の実態把握<再掲>	第三者の目が届いていないと思われる高齢者を対象に見守り訪問を実施して生活の様子を確認するとともに、状況に応じてふさわしいサービスへの誘導を図る。	健康福祉課	訪問件数	継続	6,100件	7,507件	7,430件	昨年とほぼ同様の訪問件数で問題なし世帯が99.8%となっている。	
②	認知症サポーター養成事業	認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する認知症サポーターを養成する。	健康福祉課	受講者数(累計)	継続	230人	221人	東区としての事業廃止	本庁事業として、引き続き外部の団体が東区内で養成講座を実施。	
③	民生委員・児童委員の確保	民生委員・児童委員は、社会奉仕の精神をもって、社会福祉の増進に努める民間の奉仕者で、厚生労働大臣の委嘱を受けて各地域に配置されている。	福祉総務課 健康福祉課	配置率(欠員数)	100%(0人)	96.8%(欠員7名)	95.9%(欠員9名)	96.4%(欠員8名)		
④	友愛訪問事業(見守り活動)	見守りが必要な一人暮らし高齢者(原則満75歳以上)等が住みなれた地域で安心して暮らせるよう、地域ボランティアが訪問し、安否確認と孤独解消を図る。	区社協	訪問世帯数・訪問員数	継続	1,303世帯 280人	1,258世帯 281人	1,208世帯 273人	区内12地区で地区民生委員児童委員協議会及び支会の協力により実施。	
⑤	おせち料理配食事業の実施	友愛訪問事業対象者にあたたかい気持ちで新年を迎えてもらうため、地域ボランティアがおせち料理を配食し、声かけを行う。	区社協	配食数	継続	1,382食	1,311食	1,261食	区内12地区で地区民生委員児童委員協議会及び支会の協力により実施。	
⑥	地区民生委員児童委員協議会との連携	毎月各地区の定例会に出席し、情報交換を密にし、連携した個別支援、地域支援を進める。	区社協	各地区定例会への参加率	継続	95%	95%	94%		
(2) 避難行動要支援者への支援体制を確立しましょう										
①	避難行動要支援者名簿登録制度	高齢者、障がい者、要介護者など災害時に自力で避難できない人などを対象に名簿を作成し、地域の自主防災組織などに配付し、災害時に地域で支援する体制を確立する。	健康福祉課 総務課	登録者数	継続	4,374人	4,492人	4,583人		
②	自主防災組織	地域の住民の、「自分たちのまちは自分たちの手で守る」という共助の精神に基づき、地域の防災活動の拠点として結成される。	総務課	組織数・組織率	継続	124団体 97.3%	124団体 94.7%	124団体 94.3%	新規結成自治会があったため、結成率は減少した。	
③	「きらりん救急情報キット」配付による緊急時・災害時の支援	高齢者や健康上不安を抱える方の安心・安全を守るため、かかりつけ医や緊急連絡先等の情報を保管するキットを配付し、緊急時・災害時に備える取り組みを進める。	区社協	登録者世帯・利用者数	継続	7,218人	7,482人	7,707人		

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(3) 地域で防災・防犯・交通安全対策を進めよう										
①	自主防災組織結成・育成の支援（自主防災組織結成助成）	自主防災組織が結成され、結成の届出後1年以内に自主的な防災訓練を実施した場合に助成を行う。	総務課	件数	継続	0件	0件	0件	令和5年度は自主防災組織の新規立ち上げがなかったため。	
②	防災訓練の実施	自主防災組織が自主的に実施する防災訓練	総務課	件数	継続	39件	56件	85件	令和4年度に引き続きコロナ禍の緩和により増加傾向にある。	
③	防災訓練への支援（自主防災組織活動助成金）	自主防災組織が実施する防災訓練に必要な防災資機材の購入等経費の一部を助成する。	総務課	件数	継続	32件	51件	62件	令和4年度に引き続きコロナ禍の緩和により増加傾向にある。	
④	防災講座の開催	避難場所や避難のしかた、地形などの特性、日ごろからの備えなどについて、市の職員が講師となり講座を行う。	総務課	開催回数	継続	26件	22件	32件	座学や体験などを通じて、防災への理解を深めてもらっている。	
⑤	避難所運営体制検討会の開催	平常時から、避難所ごとに『避難所運営マニュアル』の作成や運営方法などについて、あらかじめ共通認識を持つとともに、顔の見える協力体制づくりを行う。	総務課	開催回数	継続	1回	1回	1回	すべての避難所で、運営生活ルールが完成した。	
⑥	防犯ボランティアネットワーク事業	各地域において防犯パトロールなどの防犯活動に取り組んでいるボランティア団体等のネットワーク形成、地域同士の情報共有・連携、活動支援を図る。	総務課	登録団体数	継続	46団体	48団体	49団体	登録団体が昨年度より1団体増となった。	
⑦	地域安全マップの作成	犯罪が起こりやすい危険な場所を地図にまとめ、子ども自身の危険予測や危険回避能力を高めるとともに、作製に関わる大人と地域の防犯力を高める。	総務課	実施団体数	継続	1団体	2団体3チーム	2団体	中野山及び大形のコミ協でマップを作成し、大形はコンテストに入賞した。	
⑧	交通安全教室の実施	幼稚園・保育園の児童や小学生、高齢者等を対象に交通安全教室を実施し、安全な交通ルールの啓発を行うことで、事故のない安心安全な暮らしを目指す。	総務課	実施回数・参加人数	継続	実施回数 92回 参加人数 4,374人	実施回数 115回 参加人数 4,829人	実施回数 124回 参加人数 4,858人	毎年度計画的に教室を実施している。	
⑨	防犯灯設置補助金	自治会・町内会などが自主的に設置管理する防犯灯を対象に設置費及び電気料の一部を補助する。	地域課	件数	継続	83件	81件	57件	・令和5年度末時点で防犯灯全体の98.7%がLED化されている。 ・経年劣化による取替の増加が予想される。	
⑩	地域活動補助金【防災・防犯】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	9件	10件	9件	これまで同様に多くの団体から申請を受けている。	
⑪	災害ボランティア講座	東区で災害が発生した際に、区社協が中心となり様々な団体と連携して災害ボランティアセンターを運営するため、関係機関と災害ボランティア講座を開催する。	区社協	開催回数・参加者数	継続	開催なし	災害ボランティアセンター研修(中央区社協共催) 1回 136名	開催なし		

基本目標4 だれもが集まれる機会・場づくり

◎誰もがいつでも気軽に立ち寄れる交流の場をつくり、地域で楽しく交流できる場の確保と活動参加の促進に努めます。

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(1) 気軽に立ち寄り、交流できる「場」をつくりましょう										
	学校開放事業	生涯スポーツ・生涯学習の振興を図るため、学校教育に支障がない範囲で市立学校の施設を開放する。	地域課	実施校数・利用者数	継続	21校 4,384人	21校 4,406人	21校 4,147人	市民の体育活動や地域活動の推進、子どもの健全育成を図ることができた。	
	コミュニティ活動設備整備補助金	地域活動に必要な高額設備（備品）の整備について費用の一部を補助する。	地域課	件数	継続	14件	13件	16件	これまで同様多くの団体から申請を受けている。	
	「地域の茶の間」の立ち上げ・運営支援<再掲>	地域に住む子どもから大人まで誰もが気軽に集まって過ごすことができる居場所「地域の茶の間」の普及を図るため助成を行う。	区社協	助成件数	継続	月1タイプ：48か所(件) 月2タイプ：10か所(件) 社協助成のみ：6か所(件)	月1タイプ：53件 月2タイプ：8件 社協助成のみ：13件	月1タイプ：50件 月2タイプ：8件 社協助成のみ：13件		
		地域に住む子どもから大人まで誰もが気軽に集まって過ごすことができる居場所「地域の茶の間」の普及を図るため助成を行う。	健康福祉課	助成件数	継続	週1タイプ：13件	週1タイプ：13件	週1タイプ：13件		
		「地域の茶の間」の立ち上げ、運営を支援するため、情報提供や交流会、研修会等を行う。	区社協	参加者数	継続	開催なし	地域の居場所勉強会 3回 117人	地域の居場所交流会 1回 93人	地域の茶の間の運営者を対象とした勉強会を開催。	
(2) 地域でふれあい、交流できる機会を増やしましょう										
	老人憩の家及び老人憩のフロア	高齢者に対し教養の向上やレクリエーション等のための場を提供し、高齢者の心身の健康の増進を図る。	健康福祉課	利用者数	継続	49,834人	59,016人	58,575人		
	地域活動補助金【イベント等】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	3件	13件	12件	地域の世代間交流を目的としたイベントが多く開催されている。	
	地域ふれあい事業への支援	地域住民による助けあい、支えあう地域づくりを推進するため、住民同士の交流を目的に行われる活動に対して助成を行う。	区社協	助成件数	継続	【地域ふれあい事業】 17件 【福祉施設地域ふれあい事業】 6件	・地域ふれあい事業 29件 ・福祉施設地域ふれあい事業 9件	・地域ふれあい事業 74件 ・福祉施設地域ふれあい事業 9件	コロナ禍により中止していた交流事業が再開され、件数が増加している。	
	歳末たすけあい事業への支援	歳末時期に、地域住民や福祉関係者が協働で行う交流会事業に助成を行う。	区社協	助成件数	継続	【地域歳末たすけあい事業】 26件 【福祉施設歳末たすけあい事業】 2件	・地域歳末たすけあい事業 35件 ・福祉施設歳末たすけあい事業 4件	・地域歳末たすけあい事業 52件 ・福祉施設歳末たすけあい事業 6件	コロナ禍により中止していた交流事業が再開され、件数が増加している。	
	敬老祝会助成事業	9月～10月に実施する、高齢者（75歳以上）の長寿をお祝いし、地域交流を目的とした敬老祝会に対し一部助成を行う。	健康福祉課	助成件数	継続	0件	16件	33件	コロナ禍により中止していた交流事業が再開され、件数が増加している。	

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(3)地域の学校や、いろいろな施設・団体と交流しましょう										
	「ぶちショップ東区」の実施	障がい者施設の自主製品の販売を通じた交流	健康福祉課	参加団体数	継続	11団体	11団体	11団体		
	思春期健康教育	思春期の子どもを対象に、「思春期の心と身体の変化」, 「性」, 「生命」, 「性感染症予防」などをテーマに健康教育を実施する。	健康福祉課	実施校数・参加者数	継続	小学校：1校 31人 中学校：6校 788人	小学校：1校 31人 中学校：8校 1,178人	小学校：1校 21人 中学校：8校 1,369人 高校：2校 520人 特別支援学校：1校 70人	令和5年度より、市助産師会へ委託し、対象を高校、特別支援学校に拡大した。希望のあった学校と内容を協議し実施している。	
	地域活動補助金【教育】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	0件	1件	1件	同一の団体から毎年申請を受けている。	
	福祉教育・体験学習への協力	区内の小中学校等の総合学習の支援を通し、障がい者、高齢者など地域に暮らすさまざまな状況にある人たちへの理解を深める活動を行う。	区社協	実施校数・参加者数	継続	12校(26回) 2,189人 ・総合的な学習に関わる方との情報交換会開催なし	11校(29回) 2,567人 ・総合的な学習に関わる方との情報交換会開催なし	13校(35回) 3,354人 ・総合的な学習に関わる方との情報交換会開催なし		
	ボランティア(個人・グループ)の交流事業の開催	ボランティア活動者、受入れ団体と情報交換し、ボランティア活動のさらなる推進を図る。	区社協	実施回数・参加者数	継続	開催なし	ボランティア、元気カアップ・サポーター、受け入れ施設交流会 1回 68名	ボランティア、元気カアップ・サポーター、受け入れ施設交流会 1回 74名		
	元気カアップサポーター受入施設への働きかけ	元気カアップサポーター受入れ施設の拡充と受入れ施設の情報交換会などを開催し、受入れ施設の支援を行う。	区社協	参加者数	継続	開催なし	同上	同上		

基本目標5 情報の提供と相談支援体制の充実

◎必要な人に必要な情報をわかりやすく提供するとともに、誰もが安心して相談や支援を受けることができる体制づくりに取り組みます。

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(1) 必要な人に必要な情報が伝わる仕組みをつくりましょう										
	区だより「わいわい東区」、ホームページによる情報提供	市民生活に役立つお知らせや地域の話題など身近な情報を東区だよりや区のホームページ、スペシャルサイトなどで発信する。	地域課	発行回数 ホームページアクセス数	継続	年24回 46,000部 460,980回	年24回 40,000部 386,836回	年24回 36,000部 674,753回	東区に関する様々な情報や魅力を適切な手段、方法で届けることができた。	
	区だよりなどの点字版・音声版での提供	目の不自由な人で希望者を対象に、市報にいがた・東区だよりの点字版または記事を録音した音声版を郵送する。	地域課	発行回数	継続	年24回(月2回)	年24回(月2回)	年24回(月2回)	東区に関する様々な情報や魅力を適切な手段、方法で届けることができた。	
	子育てガイドブック「ままっぶ」の発行	東区の子育て中の保護者を編集委員とし、子育てに関する情報冊子を発行する。	健康福祉課	発行部数	継続	6,000部	6,000部	6,000部		
	依頼健康教育<再掲>	健康づくりや生活習慣病の予防、また歯の健康を守るための日常生活上の心得や食生活のあり方等について、保健師、栄養士などによる講習会を開催する。	健康福祉課	回数・延人数	継続	29回 401人	35回 479人	35回 598人		
	防災講座の開催<再掲>	避難場所や避難のしかた、地形などの特性、日ごろからの備えなどについて、市の職員が講師となり講座を行う。	総務課	開催回数	継続	26件	22件	32件	座学や体験などを通じて、防災への理解を深めてもらっている。	
	地域活動補助金【広報紙発行】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	3件	3件	4件	コミ協広報紙を継続して発行する事で、地域全体に対し活動の周知を行っている。	
	機関紙「東区社協だより」による情報発信	東区社会福祉協議会の事業内容やボランティア情報、地域活動の情報を広く周知する。	区社協	発行回数	継続	年2回	年2回	発行なし		
	区社協パンフレットの配付	東区社会福祉協議会の認知度、事業への理解を高め、必要な方へ必要な支援が結びつくよう、広くパンフレットを配布する。	区社協	配布箇所	継続	自治会・町内会回覧、 公共施設配架、窓口等で配布	窓口等で配布	窓口等で配布		
	ホームページによる情報提供	東区社会福祉協議会の事業内容やボランティア情報、地域活動の情報をホームページを活用し、タイムリーに発信する。	区社協	ホームページ配信アップ数	増	30件	24件	13件		

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(2) 身近な地域での相談支援体制をつくりましょう										
	地域包括支援センターの運営・周知	高齢者がいつまでも住み慣れた地域で生活することができるよう、地域にある様々な資源（保健・医療・福祉）などを活用し、多面的な支援を行う。	健康福祉課	相談件数	継続	31,665件	27,089件	26,761件		
	成年後見制度の周知・利用支援	認知症、知的障がい、精神障がいなどによって判断能力が十分ではない人を保護し支援する。成年後見制度を利用する場合に必要な費用負担が困難な人に費用の一部を助成する。	健康福祉課	利用者数	継続	障がい：市長申立0件 助成利用18件 高齢：市長申立19件 助成利用101件	障がい：市長申立2件 助成利用25件 高齢：市長申立26件 助成利用124件	障がい：市長申立0件 助成利用26件 高齢：市長申立12件 助成利用128件		
	東区地域自立支援協議会の開催	東区における障がい福祉に係る地域課題等を協議する。	健康福祉課	開催回数	継続	4回	4回	4回		
	生活保護受給者の自立に向けた就労支援プログラム	ワークポート新潟と連携し、経済的援助を必要とする人の自立支援に向けた就労を支援する。	保護課	参加率(H27～)	30%以上(R3～)	33.8%	30.8%	36.8%	当課にワークポートが併設されていることで、就労支援の連携が円滑に行われ、令和5年度も目標の参加率を上回ることができた。	
	学習習慣支援プログラム（子どもの学習・生活支援事業）	社会福祉協議会と連携し、低所得世帯の中学生の学力向上を支援する。	保護課	参加者数	継続(R3から)	27人	12人	12人	生活保護世帯の中学生の参加者数は横ばいだが、ひとり親・非課税世帯等を加えた全体の参加者数は増加している（R4:43人、R5:46人）。	
	日常生活自立支援事業の実施	認知症高齢者や知的障がい、精神障がいのある方の福祉サービス利用手続き、金銭管理、書類の預かり支援を通して、地域生活を継続できるようサポートする。	区社協	利用者数・延べ支援回数	継続	認知症高齢者 人 知的障がい者 人 精神障がい者 人 総支援回数1,303回	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者計80名 総支援回数1,264回	認知症高齢者 23人 知的障がい者 24人 精神障がい者 25人 総支援回数 923回		
	生活福祉資金の相談・貸付	低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯などで金融機関や他制度からの借入れが困難な世帯に貸付相談を行う。	区社協	新規貸付・相談件数	継続	相談 2,831件 申請 877件	相談 1,345件 申請 249件	相談 642件 申請 31件		
	関係機関・福祉専門職とのネットワークづくり	多問題世帯への支援など専門職が連携してよりよい支援ができるようネットワークづくりを進める。	区社協	実施内容	継続	開催なし	ネットワーク会議開催1回	開催なし		
	CSWによる情報の提供と相談支援	地域住民や専門職との連携をすすめ、個別課題、地域課題の解決に向けた取り組みを進める。	区社協	相談件数	継続	1,042件	728件	590件		
	歳末たすけあいフードボックス事業	生活困窮世帯やひとり親世帯等を対象に、支援の途切れがちな年末年始向けの食糧支援を実施する。	区社協	配布世帯数	継続	800世帯	568世帯	実施なし		